



スロベニア経済情勢

2024年12月
在スロベニア日本国大使館

1. 基礎データ



人口 : 約211万7千人
(2023年5月、スロベニア統計局)
面積 : 20, 273km² (四国とほぼ同じ)
首都 : リュブリヤナ(Ljubljana) 人口約29. 4万人)
(2021年7月、スロベニア統計局)
政体 : 共和制
政府 : ナターシャ・ピルツ=ムサル大統領
(Dr. Nataša Pirc Musar)
ロベルト・ゴロブ首相
(Dr. Robert Golob)
議会 : 二院制
(国民議会(下院)と国民評議会(上院))

通貨 : ユーロ(2007年1月1日より)
GDP : 670億ユーロ(2024年、スロベニア統計局)
GDP/人: 30, 158ユーロ(同上)

1991年 ユーゴスラビアとの連邦を解消し独立
1992年 日本が国家承認、外交関係を開設
EU各国が国家承認、国連加盟
2004年 NATO及びEUに加盟
2010年 OECDに正式加盟

2. 主要経済指標

- 2008年の金融危機以降経済が弱体化し、2012年の欧州債務危機の打撃を受けたが、2014年より徐々に回復し、2018年のGDP成長率は4.1%、2019年は3.2%と好調を維持していた。2020年は新型コロナウイルスの影響で大幅なマイナス成長（-4.2%）となつたものの、2021年には輸出入、GDPともに急速に回復し、対2020年比で輸出19.0%増、輸入26.0%増、GDP8.4%増を記録した。
- スロベニアは、旧ユーゴ時代からの先進工業地域。独立から近年まで高い経済成長を達成し、一人当たりのGDPは30,158ユーロ（2023年）と、中・東欧諸国の中で最高水準である。
- 国内の産業構造は第1次産業が2.4%、第2次産業が33.2%、第3次産業が64.4%であり、EU加盟国平均と比較して産業全体に占める製造業の割合が高い（EU加盟国平均はそれぞれ1.8%、25.1%、73.1%）。（2020年Eurostats）
- 旧ユーゴ時代の重工業から新たな産業分野にシフトしつつあり、後発の利益を生かした最新の設備・システム投資を行い、今後の成長が期待される地域。

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
実質GDP成長率（%）	2.3	3.1	4.8	4.1	3.2	-4.2	8.4	2.7	2.1	1.5
GDP（百万ユーロ）	38,837	40,418	42,987	45,755	48,393	47,045	52,023	56,909	63,951	66,819
失業率（%）	9.0	8.0	6.6	5.1	4.5	5.0	4.7	4.0	3.7	3.7
経常収支（百万ユーロ）	1,760	2,224	2,635	2,593	2,723	3,398	1,951	-637	2,856	1,839
貿易収支（百万ユーロ）	1,498	859	1,579	1,128	1,331	2,333	822	-2,459	431	-255
財政収支の対GDP比（%）	-3.2	-1.6	-0.7	1.1	0.5	-7.6	-4.6	-3.0	-2.6	-3.6
公的債務の対GDP比（%）	82.6	78.5	74.1	70.1	65.6	79.6	74.8	72.7	68.4	68.1
消費者物価上昇率（%）	-0.5	-0.1	1.4	1.7	1.6	-0.1	1.9	8.8	7.4	2.1

出典：スロベニア統計局

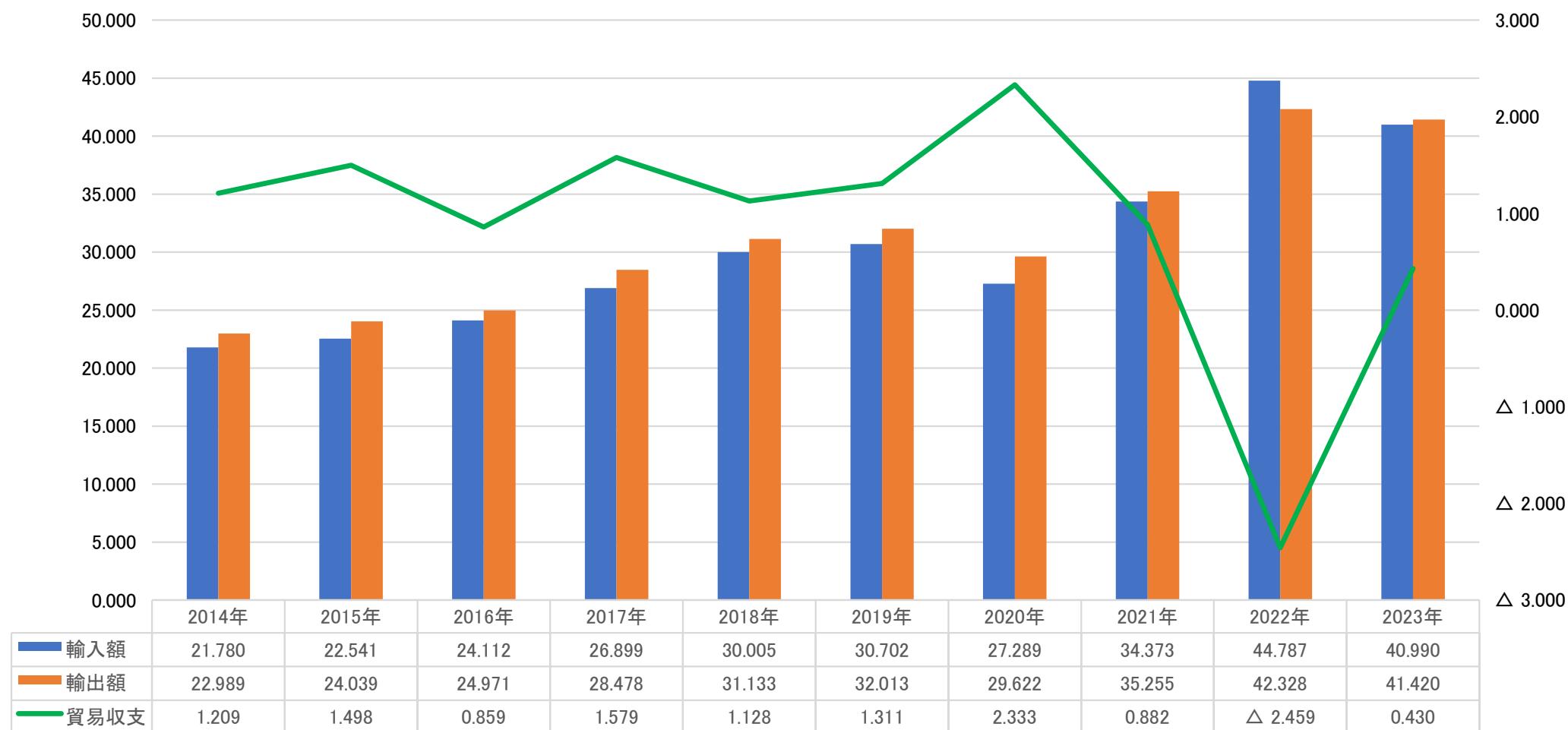
※2024年はスロベニア・マクロ経済研究所による予測値

3. 貿易

(1) スロベニアの貿易概要

▶ 2014年以降2019年までスロベニアの輸出額は一貫して増加し、スロベニアの経済成長を支えてきた。2020年は新型コロナの影響を受けて、輸出・輸入とも減少した。2021年、2022年は輸出・輸入とも大幅に増加し、新型コロナ前を上回り、史上最多額を記録した。

ア. スロベニアの貿易額の推移 (単位:百万ユーロ)



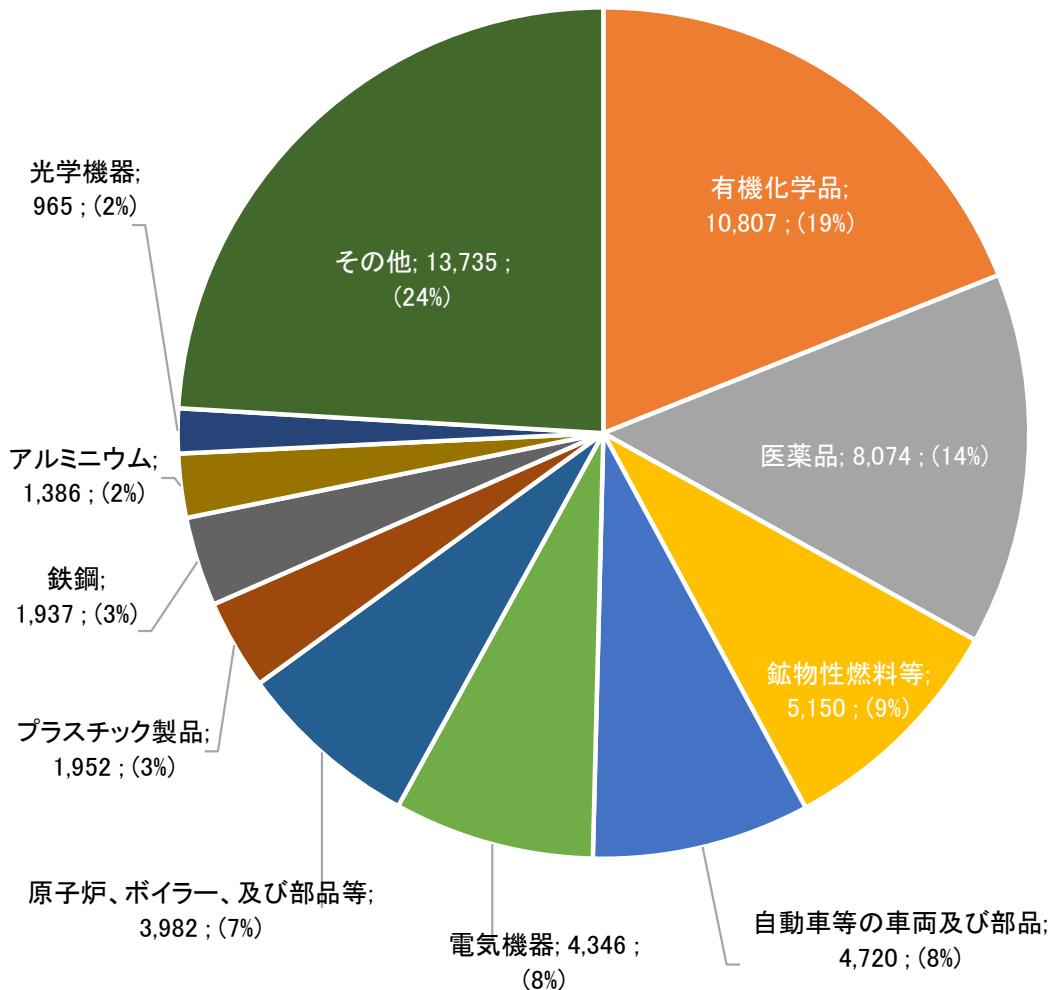
出典:スロベニア・マクロ経済開発研究所

3. 貿易

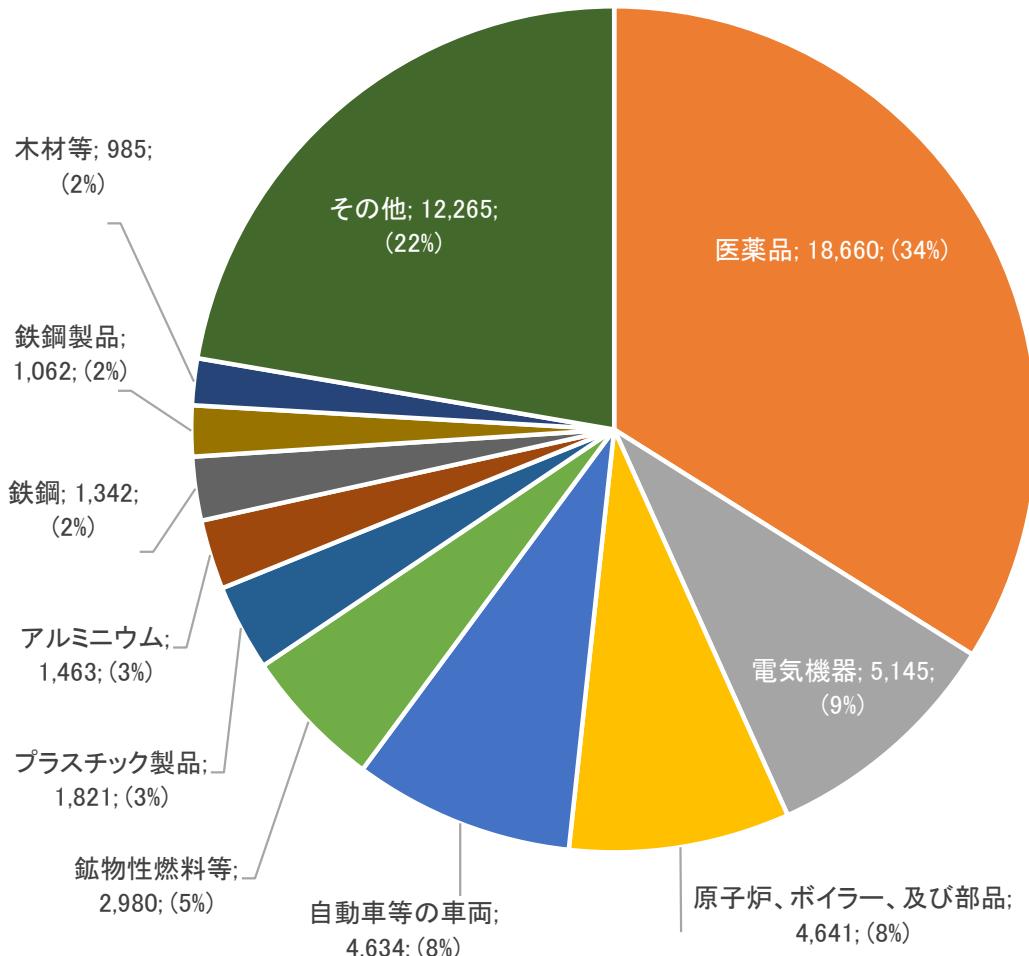
イ. 主な輸出入品目

- 輸出、輸入とも第一位は医薬品で、それ以外の輸出品は工業製品(自動車等の車両及び部品、電気機器、原子炉・ボイラー及び部品等)が主となっている。主な輸出企業はKrka及びLek(いずれも製薬会社)、Revoz(自動車製造(仏ルノー傘下))、ゴレニエ(家電(中国ハイセンス社子会社))等。
- なお、2022年は医薬品の輸出入(ノヴァルティス社(医薬品)の欧州配送センターの取扱量の増)、及び鉱物性燃料の輸出入(エネルギー価格の高騰による)が大幅に増加した。

輸入品の構成 (2023年、単位:百万ユーロ)



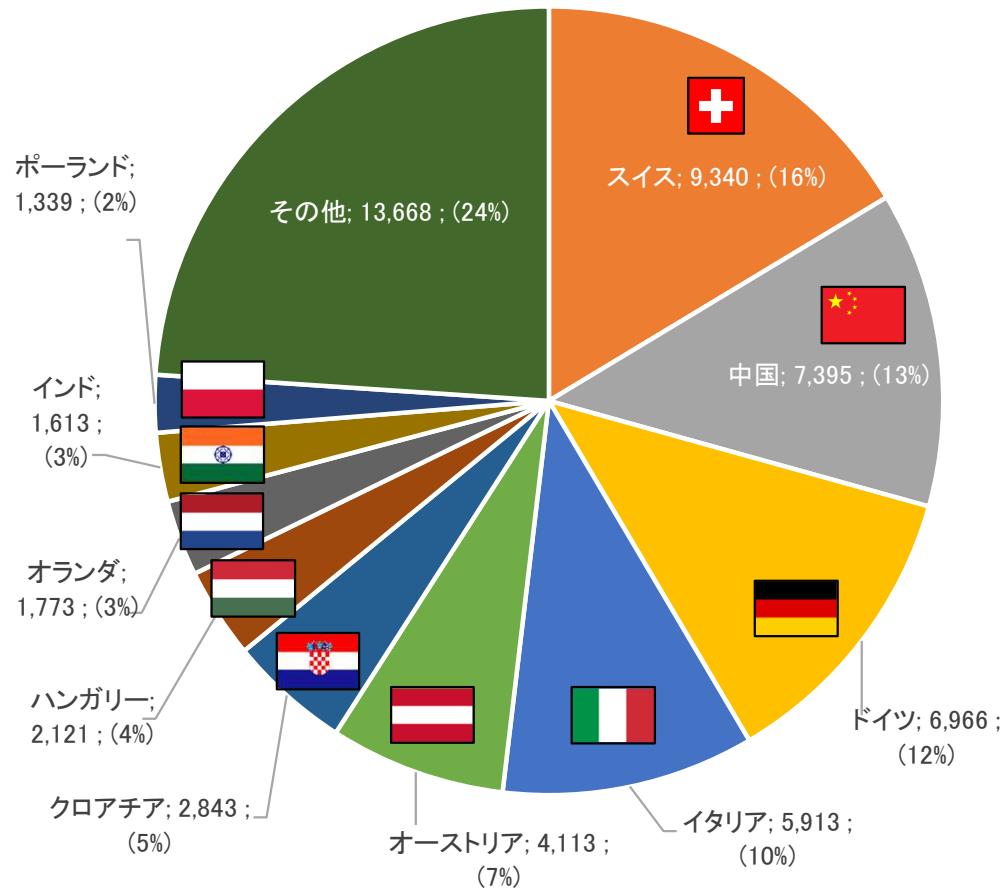
輸出品の構成 (2023年、単位:百万ユーロ)



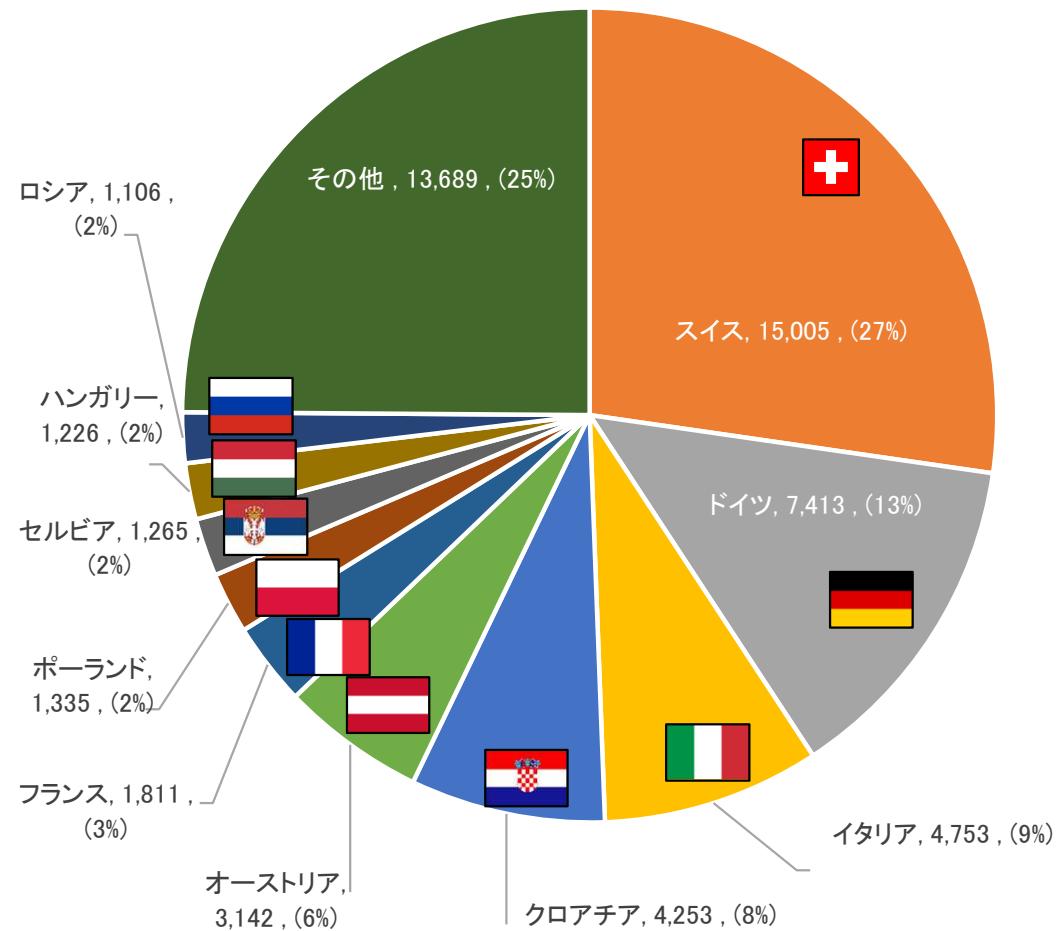
ウ. 主要貿易相手国

- スロベニアの主要な輸入・輸出相手国はほとんど欧州近隣諸国で(2020年の輸出入額の67%が欧州近隣諸国)、輸入も輸出もスイス、ドイツ、イタリア、オーストリア、クロアチアの5か国が上位を占めてきたが、2021年に中国からの輸入が大きく増加し第2位の輸入国となった(2020年は6位)。また、2022年はノヴァルティス社の欧州配送センターの取扱量の増加によりスイスが輸出入とも1位となった(2021年は輸出は3位、輸入は2位)。

輸入国構成 (2023年 単位:百万ユーロ)



輸出国構成 (2023年 単位:百万ユーロ)

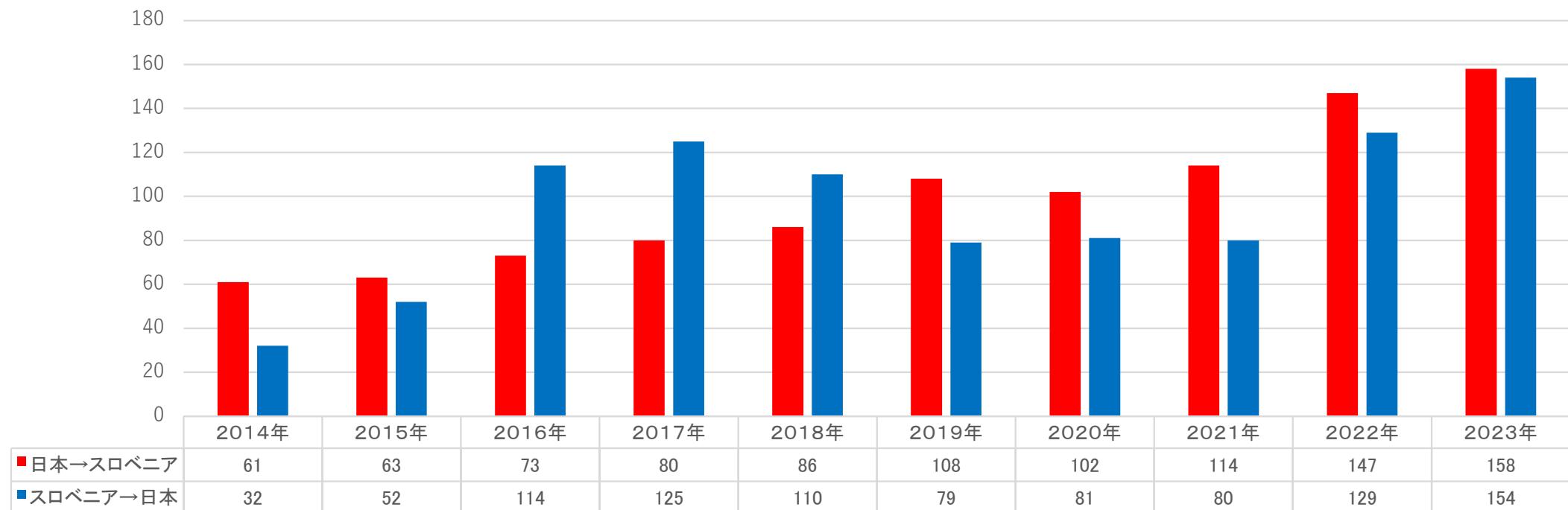


3. 貿易

(2) 日本との貿易概要

- スロベニアの総輸入額及び輸出額に占める日本のシェアは共に0.3%と微量であるが、近年の貿易額は増加傾向にあり、貿易総額は、2022年に前年比42%増、2023年は13%増となった。
(注)他のEU加盟国等を経由して輸入される日本產品はカウントされていない。

ア. 貿易額の推移 (単位:百万ユーロ)



出典:スロベニア統計局

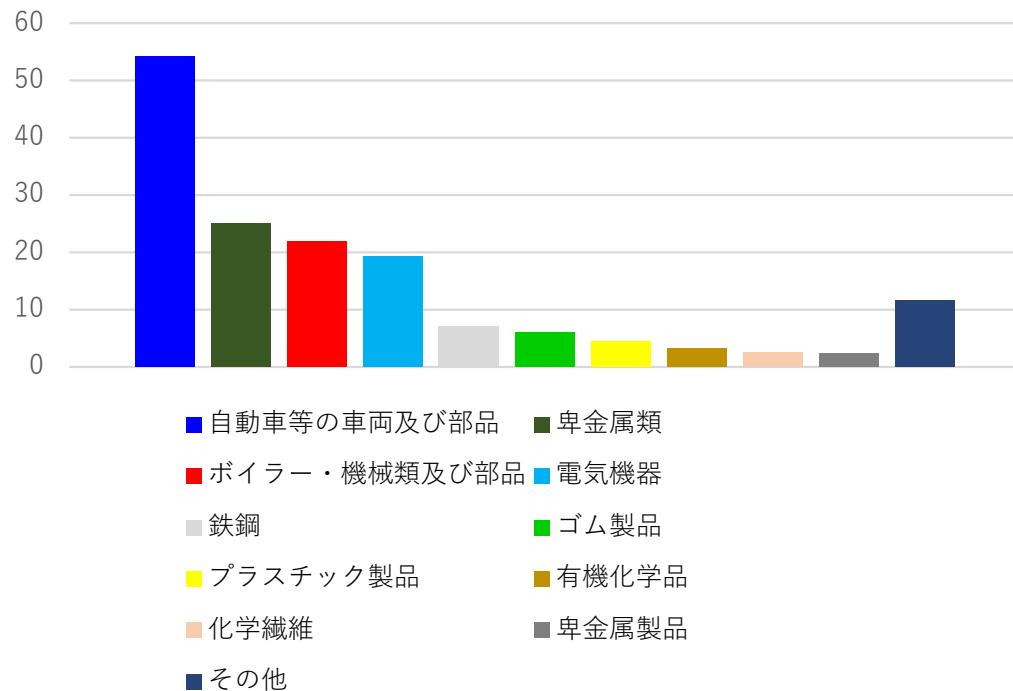
3. 貿易

1. 主な輸出入品目

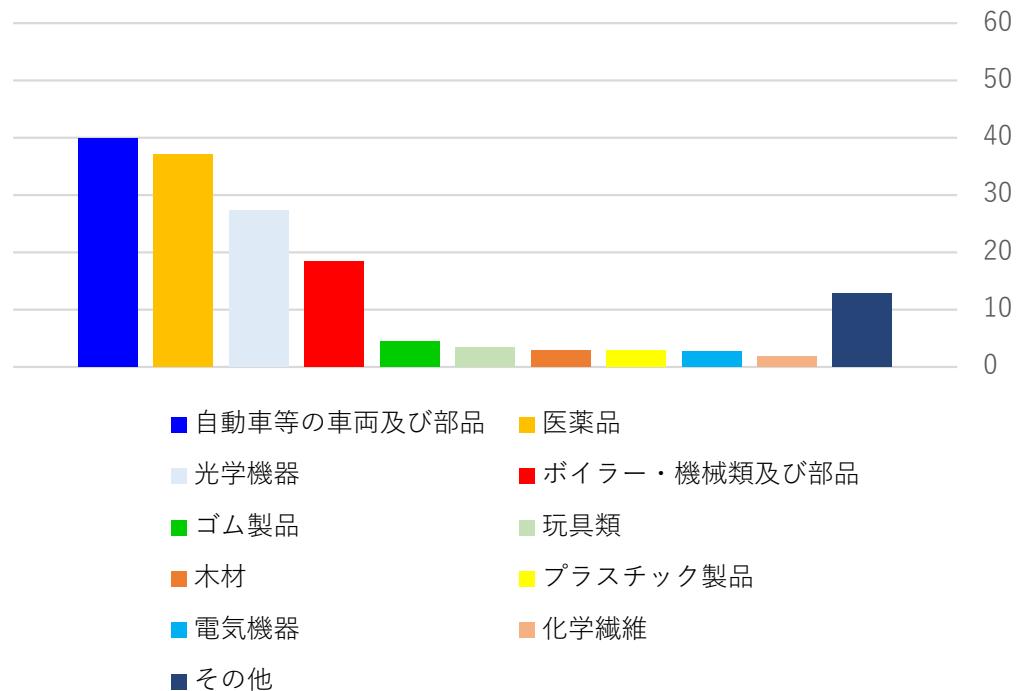
➤ 日本とスロベニア間の貿易の最大の輸出入品目は自動車等の車両及び部品。

単位:百万ユーロ

日本からの主な対スロベニア輸出品



スロベニアからの主な対日輸出品



出典:スロベニア統計局

【参考】日本、米国、中国との貿易(輸入・輸出)の比較 (2023年)

	日本	米国	中国
輸入額 (単位:百万ユーロ)	158	289	7, 395
スロベニアの総輸入額中のシェア	0. 3%(35位)	0. 5%(24位)	12. 9%(2位)
輸出額 (単位:百万ユーロ)	154	787	258
スロベニアの総輸出額中のシェア	0. 3%(32位)	1. 4%(13位)	0. 5%(24位)

出典:スロベニア統計局

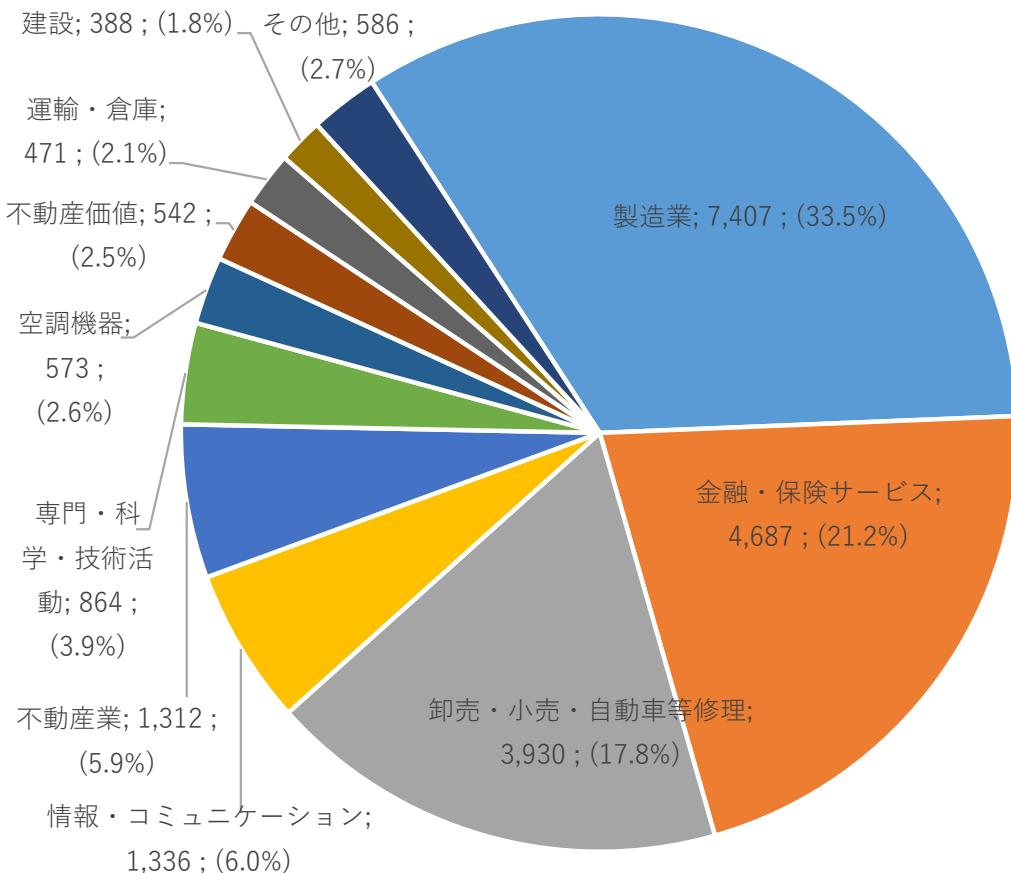
4. 投資

(1) 対スロベニア海外直接投資(FDI)

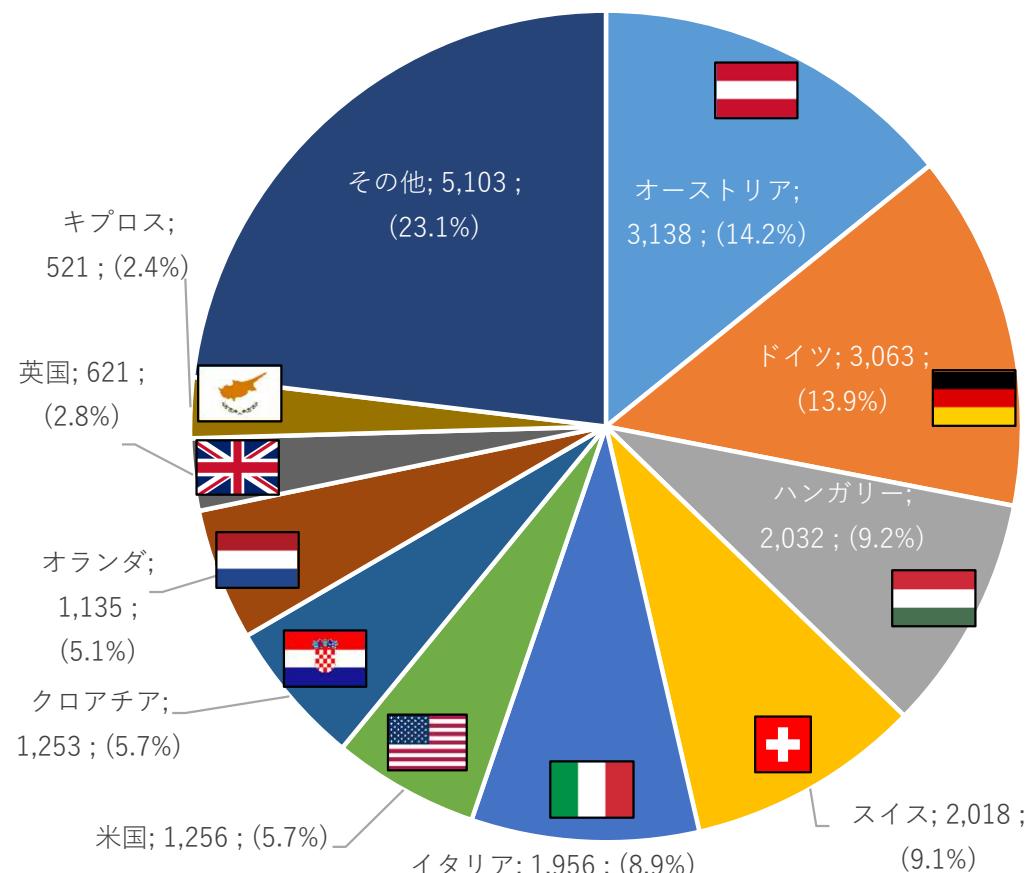
- 2023年の対スロベニアFDI残高は、前年比9.1%増加の約221億ユーロとなっている。2014年以降、新型コロナウイルスの影響が見られた2020年を除いて毎年約10億ユーロかそれ以上の対スロベニア直接投資(フロー)が実施されてきており、2021年は21億ユーロと記録的な投資額となった。
 - 主要な投資国は、米国を除き、オーストリア、ドイツ、スイス、イタリア等の欧州近隣諸国。
 - 部門別では、製造業、金融・保険業、卸・小売業等への投資が大半。

総額: 22,096百万ユーロ

ア. 主要な投資分野(ストック) (2023年、単位:百万ユーロ)

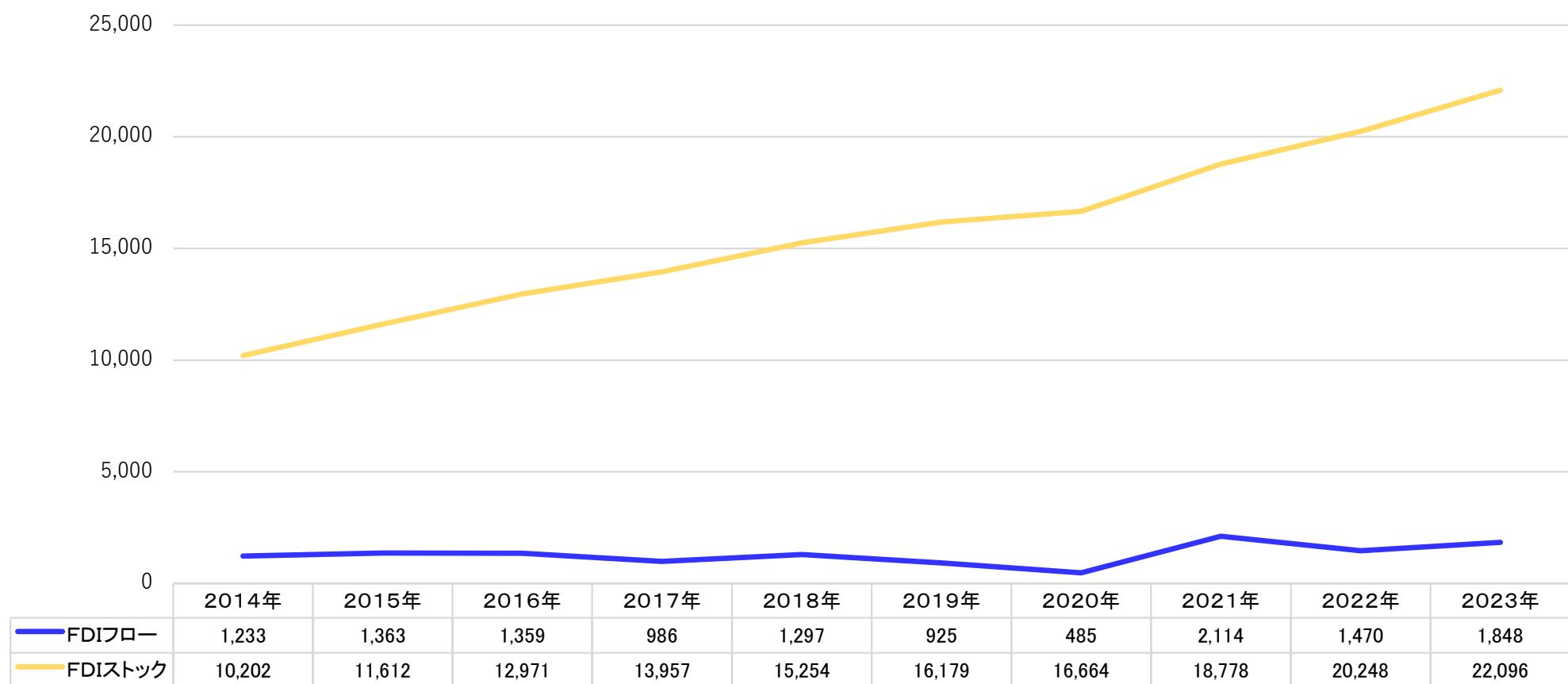


イ. スロベニアへの主要な(本来の)投資国(ストック) (2023年、単位:百万ユーロ)



4. 投資

ウ. 対スロベニア直接投資額(フロー)の推移 (単位:百万ユーロ)



出典:スロベニア中央銀行

4. 投資

(2) 日本からスロベニアへの直接投資

- 日本からの投資は欧州各国等を経由して行われることが多いが、本来の投資国ごとに合計した場合、2023年時点の日本からスロベニアへの投資額(ストック)は4億800万ユーロで、全体で12位、アジアで1位となっている。主な投資分野は化学工業、ロボット工業、ハイテク工業、自動車販売等。



【参考】日本、米国、中国との投資額の比較 (2023年、ストック、単位:百万ユーロ)

	日本 	米国 	中国 
直接投資額	61(23位)	148(17位)	データなし
本来の投資額	408(12位)	1, 256(6位)	データなし

出典:スロベニア中央銀行

4. 投資

最近の日本の大型投資案件

年次	出資企業	資本金	概要
2014年	ダイヘン	500万ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州市場参入のため、東欧市場シェア30%であったヴァルストロイ社(於レンダバ市:スロベニア東部、ハンガリー及びクロアチアとの国境付近)を買収。2024年には、創業60周年イベント式典を実施。 ・溶接機・ロボット等の開発・製造・販売を行う。従業員数約150人。
2016年	安川電機	2, 100万ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用ロボットの欧州における製造拠点をコチェウイエ市(スロベニア南部、クロアチアとの国境付近)に建設することを決定。(敷地面積3万m²、200人を雇用予定)。2019年操業開始。従業員数約70人。 ・2018年、産業用ロボットのインバーター・サーボメーターの製造工場の追加投資を発表(投資規模で2, 000万~2, 500万ユーロ、250人を追加雇用予定)。 ・2024年、欧州ロボット配送センター・エンジニアリング施設の建設を開始(敷地面積2万m²、投資規模3, 200万ユーロ)
2017年	関西ペイント	100万ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> ・中東欧、西欧、ロシア等に市場を持ち、特に工業塗料に強いヘリオス社(於ドムジャレ市、首都リュブリヤナから北東に約20分)を5億7, 000万ユーロで買収。 ・塗料製造・販売を行う。従業員数約1, 775人。
2022年	日本ペイント	530万ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ペイントがオーストラリアに所有するDulux Groupを通じてスロベニアのユブ社を買収(報道によれば買収額は1億9, 450万ユーロ)。 ・ユブ社はスロベニアとボスニアの建築塗料でシェア1位、旧ユーゴはじめ中欧各国に展開。従業員数774人(うちスロベニアに458人)。

出典:スロベニアAJPES(企業情報HP)